

Country Walk 里歩き

信濃路・八ヶ岳南山麓をのんびりと

1.

尖石縄文遺跡に縄文のビーナスを訪ねて

2003.12.5.



茅野市尖石より 八ヶ岳連峰 2003.12.5.



国宝「縄文のビーナス」

2003.12.5. 東京からの帰り、中央線で南アルプスの山を眺めながら茅野に出て、八ヶ岳西山麓の斜面に広がる尖石遺跡 縄文館の「縄文のビーナス」を見にいってきました。

いつもの行き当たりばったりの風来坊。天気はいいし、南アルプス眺めるだけでも良いと思って出かけたのですが、南アルプスはもちろん八ヶ岳連峰の山裾の林の中をぶらぶら歩き、本物の国宝「縄文のビーナス」を見てきました。



南アルプス 高城近傍より 2003.12.5.

1. 尖石縄文遺跡と国宝「縄文のビーナス」



中央線 葦崎近傍 車窓から 南アルプスの眺望

尖石遺跡は、八ヶ岳西山麓 1070mの台地であって、約 5000 年前の代表的な遺跡です。

台地の南斜面に縄文時代に石斧を研いだあとのある「尖石さま(とがりいし)」と呼ばれる巨石があり、遺跡の名前はこれに由来します。

多くの豪華な遺跡とともに 100 近い住居あとが発掘されました。



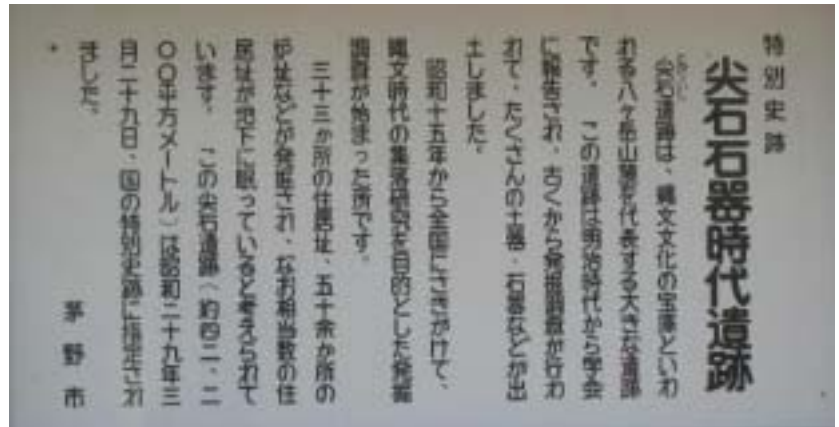
尖石縄文遺跡 茅野市茅野市 2003.12.5.



まだ多数の遺構が残っていて縄文研究上 きわめて貴重な遺跡といわれています。

八ヶ岳の山麓 諏訪・茅野は縄文の故郷 縄文人が残した数々の遺跡があり、またこの遺跡の西側を北へ続くなだらかな山々 車山から霧ヶ峰のむこうが古代日本の黒曜石の一大産地 和田峠。

この諏訪・茅野地方ではこの黒曜石加工工房とともに数々の加工品が縄文遺跡とともに見つかっています。



縄文考古館と尖石遺跡公園 隣り合う与助尾根遺跡 2003.12.5.

この尖石遺跡に併設された縄文考古館は今後の縄文研究の一大センターの役割とともに数々の縄文出土品を展示。近郊の棚畑遺跡から出土した日本最古の国宝というより、「縄文のビーナス」と呼ばれる素晴らしい土偶もここに展示されています。

国宝「縄文のビーナス」 2003.12.5. 尖石縄文考古館



「子供を産むことができる女性を豊かさの象徴とし、安産や子孫繁栄・自然の恵みを願う信仰の対象とした」など諸説ありますが、ふくよかな女性の身体を柔らかい曲線でシンプルに表現したその姿は「暖かさと豊かさ」そのもの。まさに「ビーナス」。じっと見ていると本当にぬくもりが伝わってきます。八ヶ岳の山麓 諏訪・茅野は縄文の故郷 縄文遺跡はどこもそうですが、森の中 山裾の林の中に在るのがいい。尖石もそんなとこ。

この縄文考古館で 古代鉄および彩色原料「鬼板」をつかって彩色された縄文土器の彩色実験を見ました。本当に鮮やかな赤が縄文の文様とともに再現されていました。そう
例えば 信州は「鬼板」が豊富に取れるところ。



「鬼板」を使った縄文土器彩色実験



人面付 土器

八ヶ岳を見ながら林の中でのんびり昼寝をして ぶらぶら土地の人と話しながら茅野の駅まで約2時間歩きました。ついでながら 茅野・諏訪駅から大阪まで、高速バス。夕方バスに乗り込むとそのまま大阪梅田。気楽でした。